

ご支援いただいている皆様方へ



Holy Hope Project

竹下 力・静

〒272-0826 千葉県市川市真間 2-21-6

プレジール 102

TEL&FAX 047-322-2209 携帯 080-5460-1766

http://www.holyhope.net/ E-mail: takeshita@holyhope.net

いつも、私たち夫婦の活動のためにお祈りいただきまして、誠にありがとうございます。

早くも8月となり、ますます暑さも厳しい日が続いておりますが、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

意外と皆様からご心配いただくのが、私、力の仕事（旅行業）のこと…。元々一般向けに韓国を一番の得意としていたのですが、政治的な日韓外交関係の悪化から、韓国旅行での売上は下がったままです。しかし代わりに台湾他に展開し、厳しい状況ではありますが、なんとか守られてもおります。ありがとうございます。



7/26 TPC 静コンサート ピアノはゴン・ミン氏(韓国)

そんな折、韓国からピアニストのゴン・ミン氏が静とコラボでコンサートをしてくださり、反対に、静もまた9月、ゴン・ミン氏のコーディネートで、韓国でのコンサートが予定されております。

このゴン・ミン氏は、プロで活躍するクリスチャンアーティスト。しかし、3年前の震災後に日本のために何かできないかと、それから日本語を勉強し始め、今では毎月のように日本を訪れています。

日本人と韓国人。時に「国」という単位で、十把一絡的に人を見てしまいがちですが、人と人として付き合ってみる時に、それがいかに偏見かもわかると思います。こうした日韓クリスチャンとの交流も、日韓の平和の架け橋になっていくことを期待し、祈るところです。

今年も後半戦に入っておりますが、夫婦共々、仕事に奉仕にがんばりますので、ぜひ、お祈りのほど、よろしく願いいたします。

■活動予定

- 8月1日(金) 市川市 市川家庭集会(聖望キリスト教会) 静・夏の夕べのコンサート
- 8月10日(日) 川崎市 保守バプテスト・田園グレースチャペル 力・メッセージ
- 8月17日(日) 加古川市 フリーメソジスト・加古川キリスト教会 力・メッセージ/静・コンサート
- 8月29~30日 軽井沢町 ゴスペルリンキング in 軽井沢(恵みシャレー) 静・出演
- 8月24日(日) 横浜市 単立 シャローム福音教会 力・メッセージ
- 9月13~15日 静・愛知/京都ツアー(志賀キリスト教会、京都中央チャペル「洛都祭」他)
- 9月14日(日) 市川市 聖望キリスト教会 力・メッセージ
- 9月21日(日) 横浜市 単立 シャローム福音教会 召天者記念礼拝 静・賛美
- 9月25~30日 静・韓国ツアー with Migiwa, ゴン・ミン
- 10月 3~6日 静・北陸ツアー(金沢中央教会、内灘聖書教会他)
- 10月11日(土) 新宿区 復興支援一致祈祷会(ウェルアノホリ初淀橋教会) 静・音楽ゲスト
- 10月12日(日) 寝屋川市 日本キリスト教会 香里園教会 静・コンサート
- 10月16~20日 静・沖縄ツアー(沖縄しあわせコンサート、ゴスペルリンキング他)
- 10月26日(日) 静岡市 単立 その枝キリスト教会 力・メッセージ/静・賛美
- 11月9日(日) 横浜市 単立 シャローム福音教会 力・メッセージ

※その他、折を見て、東北にも訪問させていただく予定です。

■各地教会でご奉仕いたします … 夫婦迷コンビ!? 説教&賛美での奉仕も、ぜひどうぞ!

説教については、初めての方でも楽しく、わかりやすく、聖書を味わっていただけるように心がけて参ります。牧師先生の出張、無牧の教会、小さな伝道所などでもご活用ください。ご無理がなければ交通費程度のサポートをいただければ感謝ですが、無償でもお受けいたします。

静の賛美・コンサートについては、準備や音響設備等で実費が発生してしまうため、無償での奉仕はなかなか難しいのですが、まずはご相談ください。

自分が持っている「五つのパンと二匹の魚」

「ここに少年が大麥のパンを五つと小さい魚を二匹持っています。しかし、こんなに大ぜいの人々では、それが何になりましょう。」ヨハネ 6:9

人それぞれ、性格の違いがあるかと思いますが、私の場合、自分の能力や実力を見ては、これじゃあ駄目だよな…と、マイナス思考で意気消沈してしまうときがあります。

本来、のんびり志向の静岡人。

仕事の上でも、ひとつのことに集中したい、時間をかけたいタイプです。ところが、このご時世、そんな悠長なことは言ってもおられません。仕事があれこれ重なると、途端にパニック。イライラしてしまったり、もっと時間があればいいのに、もっとテキパキ、いろんな仕事がこなせたらいいのに…、自分にないもので悩んでしまったり、仕事を請けること自体、躊躇してしまう時もあります。

説教の奉仕にしてみても、できない部分に目が留まり、もっとうまく話せたらいいのに…とか、もっと準備できる時間があれば…などと思ってしまうことがあります。自分が赦せず、背伸びしてしまい、お恥ずかしながら、一時、ちょっと落ち込むような時期もあったんです。

そんな折、思い出したのが、有名な五つのパンと二匹の魚のお話。

五千人も男たちに、食べ物を与えなさいという主イエスの言葉に弟子たちは躊躇するんですね。

「私たちが出かけて行って、二百デナリものパンを買ってあの人たちに食べさせるように、ということでしょうか。」

マルコ 6:37

「ここに少年が大麥のパンを五つと小さい魚を二匹持っています。しかし、こんなに大ぜいの人々では、それが何になりましょう。」ヨハネ 6:9

弟子たちの言うことは、もっとも正論なんです。私も同じように考えてしまうと思うのです。

ですが、このとき、あたふたしている弟子たちのところに、五つのパンと二匹の魚を持ってきた少年がいるんですね。たぶん、この少年は、これでは足りないとか、焼け石に水だとか、そういった大人の計算はせずに、ただ自分が持っているものを持ってきたんだと思います。

まずは自分が持っている「五つのパンと二匹の魚」を差し出すことなんですよ。それ以上もそれ以下もありません。人それぞれ、持てる能力、個性は違いがあっても、私たちが差し出せるものは、あくまで、「これでは足りない五つのパンと二匹の魚」なんだろうと思います。

より上を目指すことも成長には必要であると同時に、今の等身大の自分を素直に認めて、この少年のように、今の自分が持っている「五つのパンと二匹の魚」を差し出す心を大切にしたいものです。

自分にないもので否定せず、自分の持てるものを差し出していくところに、成長の一步もあるはず。それがどう用いられるかは、時折々あると思いますが、用いてくださるのも、増やしてくださるのも、イエス様なのです。

そこで、イエスはパンを取り、感謝をささげてから、すわっている人々に分けてやられた。また、小さい魚も同じようにして、彼らにほしいだけ分けられた。ヨハネ 6:11